

1. 第19回全国大会開催のお知らせ

情報文化学会第19回全国大会が**2011年10月8日（土）**、**東京大学・山上会館**にて開催されます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。本年度は前夜祭もおこなう予定です（東京大学大で開催の予定：7日（金）・午後）。皆さんで盛んに盛り上げてゆきましょう。

■統一テーマ：ソーシャルメディアと情報文化

■日時：2011年10月8日（土）、10:00～19:00 開会式、研究発表、基調講演、贈賞式、総会、交流会

■会場：東京大学 山上会館（下記参照）

■大会参加費：5,000円（一般会員）、3,000円（学生会員）

■交流会費：5,000円（一般会員）、3,000円（学生会員）

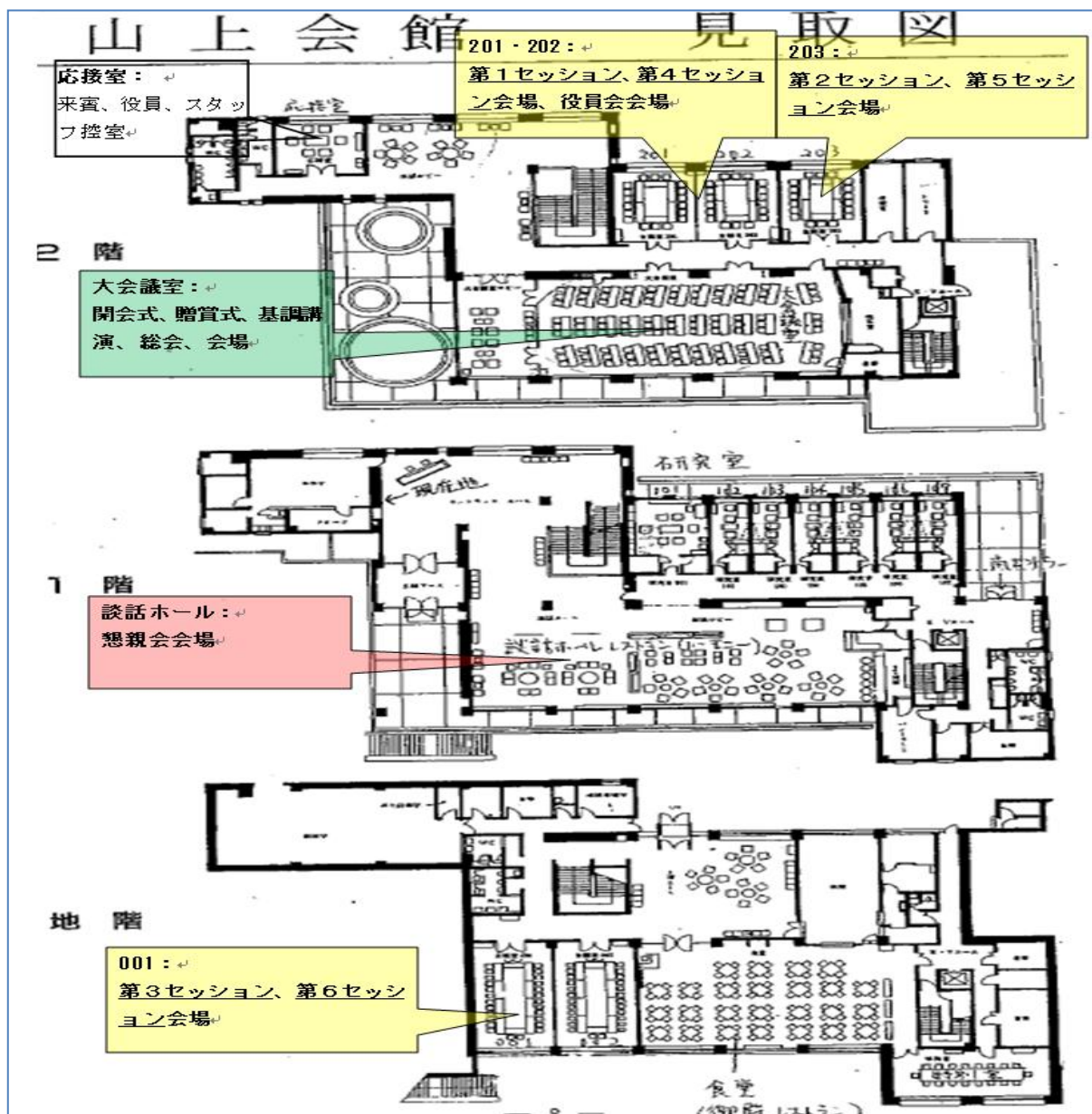
2. 大会開催会場（東京大学 山上会館）へのアクセス

最寄駅：本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線、地下鉄大江戸線）、湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）、東大前駅（地下鉄南北線）、春日駅（地下鉄三田線）



引用 URL：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_00_02_j.html

3. 大会開催会場（東京大学 山上会館）見取り図



4. 大会プログラム

●受付スタート：9：30 （2階大会議室・脇）

●開会式：10：00～10：10 （会場・2階大会議室）

総合同会／開会挨拶：長田 攻一（早稲田大学）

●研究発表会（午前の部）：10：10～12：10（120分）（発表者の持ち時間：30分（発表20分，質疑10分））

<第1セッション>「産業」（会場・201・202）座長：辻本 篤（東京大学）

1. 日米 IT 投資の相違比較と情報文化： 高橋 浩（宮城大学），
2. 新しい動的不均衡モデルに関する一考察： 村館 靖之（東京大学大学院学際情報学府 博士課程）
3. 政策金融ファイナンスにおける情報の非対称性に関する一考察： 亀谷 祥治（日本大学）
4. 情報産業に見る3つの変化—レコード産業を事例に： 加藤 綾子（東京大学大学院）

<第2セッション>「知の構造化—他学会招聘講演（交流）—」（会場・203）座長：岡谷 大（法政大学）

1. 「総合知」基礎論（生きている学問とは）： 上草 貞雄（技術環境研究所）
2. 総合知の形成： 小松 昭英（ものづくり APS 推進機構）
3. 情報文化の構造（空間モデル）の適用に関する視座： 森田 富士男（発想支援システム研究会主宰）
4. 情報文化の思考モデルをめぐって—有機体とプロセスの哲学からの示唆—： 岡谷 大（法政大学）

<第3セッション>「教育」（会場・001）座長：平澤 洋一（城西大学）

1. Moodle を用いた語彙教育： 李 穎清（北京北方工業大学），平澤 洋一（城西大学），松永 公廣（摂南大学）
2. e-Learning System with Dynamic Teaching Materials： George BATISTA（Graduated School of Information Science, Nagoya University）and Takami YASUDA（Graduated School of Information Science, Nagoya University, Prof）
3. 環境教育を支援するための建物の3Dモデル自動生成システムの応用： 村瀬 孝宏（中京学院大学 中京短期大学部），杉原 健一（岐阜経済大学 情報メディア学科），周 欣欣（名古屋文理大学 情報メディア学科）
4. ネットショップ作成演習の評価： 松永 公廣（摂南大学），鴨谷 真知子（東大阪短期大学），佐野 繭美（摂南大学），太田 和志（東大阪短期大学）

●昼休憩：12：10～13：10

●基調講演：13：10～13：50（会場・2階大会議室）司会：小早川 護（北海道大学）（予定）

講師：須藤 修（情報文化学会 会長，東京大学大学院情報学環 教授）

●贈賞式：13：50～14：30（会場・2階大会議室）プレゼンター：片方 善治（情報文化学会 名誉会長）

司会：小早川 護（北海道大学）（予定）

●研究発表会（午後の部）：14：30～16：30（120分）（発表者の持ち時間：30分（発表20分，質疑10分））

***「第4セッション」の発表者の持ち時間：25分（発表20分，質疑5分）を目安にする）**

<第4セッション>「モバイル」（会場・201・202）座長：松永 公廣（摂南大学）

1. 対面時における「ケータイのディスプレイを見る行為」に対する印象の経年変化：中村 隆志（新潟大学）
2. メディア経験として3.11-The mourning after:The role of social mobile media in the 3.11：キム・キョンファ（東京大学大学院学際情報学府 博士課程）
3. 高齢者による携帯電話利用の考察—地域経営のネットワークハブとしての可能性—：河井 孝仁（東海大学）
4. 就職活動における情報化とモバイル化の現状と課題：松下 慶太（実践女子大学）
5. モバイルメディアの普及と若者たちの社会的ネットワークの変容：天笠 邦一（慶應義塾大学 SFC 研究所）

<第5セッション>「情報社会」（会場・203）座長：菅原 光政（岩手県立大学）

1. 地域ポータルサイトの基盤づくりにおけるディレクトリ構築システムの提案：小林 拓也・岡本 東・堀川 三好・竹野 健夫・菅原 光政（岩手県立大学大学院 ソフトウェア情報学研究科）
2. ソーシャル・プロフィールによる情報行動分析の試み—ソーシャル・インフルエンサーは誰なのか—：

春木 良且（フェリス女学院大学），境 新一（成城大学），神山 泰祐（成城大学）

3. 情報教育支援システムの運用に向けた効果的な表現： 佐久間 貴士（戸板女子短期大学），小堀 光芳（立正大学），山下 倫範（立正大学）
4. 情報社会の進展と電子政府政策の推進に関する考察： 本田 正美（東京大学大学院学際情報学府博士課程）

＜第6セッション＞「地域・観光」（会場・001）座長：堀川 三好（岩手県立大学）

1. 個人観光における観光支援システムの構築： 佐々木 丈・植竹 俊文・堀川 三好・菅原 光政（岩手県立大学大学院 ソフトウェア情報学研究科）
2. 坂戸市・城西大学共同プロジェクトによる水治運動療法実施とその評価について ―坂戸市大学連携地域活性化支援助成事業を中心に―： 水野 加寿（城西大学），柴岡 信一郎（日本ウェルネススポーツ専門学校），鳥谷尾 秀行（秀明大学），小林 裕光（大宮中央高等学校），坂本重己（日本医療科学大学），渋井二三男（城西大学）
3. ソーシャル・プロフィールとしてのアイコン―Twitter 上のアイコンからテキスト化されていないプロフィール情報を読み取る試み―： 斉藤 悠美子（フェリス女学院大学大学院 国際交流研究科），春木 良且（フェリス女学院大学）
4. 地域文化活動支援のための Web システムの設計と試作 ―名古屋市中区錦二丁目「長者町地区」の地域サイト「まちの会所 hanare」の事例から―： 田中 愛（名古屋大学大学院 情報科学研究科），原 愛樹（株式会社情報文化研究所），浦田 真由（名古屋大学大学院 情報科学研究科，（独）日本学術振興会特別研究員PD），安田孝美（名古屋大学大学院 情報科学研究科）

＜ポスターセッション＞「大会議室 脇」： 14：30～16：30（120分）

1. まちの価値の可視化によるアイデンティティの共有・統一の支援の試み ―名古屋市中区錦二丁目長者町地区「まちの会所 hanare」によるまちづくりの事例から―： 原 愛樹（株式会社情報文化研究所），田中 愛（名古屋大学大学院 情報科学研究科），名畑 恵（NPO 法人まちの縁側育くみ隊），安田 孝美（名古屋大学大学院情報科学研究科）
2. 社会的貢献活動におけるネットワーク・マネジメントに関する考察： 古坂 正人（東京工科大学）

●総会：16：30～16：50（会場・2階大会議室）司会：菅原 光政（岩手県立大学）

●交流会：17：00～19：00（会場・1階談話ホール・レストラン（ハーモニー））

5. 「JICS 便り」名誉会長 片方 善治

「本学会創立 20 周年記念行事について」

情報文化学会創立 20 周年を記念して，来る 10 月 7 日：前夜祭，翌 10 月 8 日：全国大会を東京大学において開催します。創立 10 周年記念行事は，東京のバリオホールを借り切って，盛大に行いました。今回もそれに準じた内容を企画していましたが，東日本大震災の影響下，節電事情もあり，前夜祭については大幅に内容を変更しました。

しかし，世界的 CG 作家として著名な東京大学教授・本学会理事の河口洋一郎先生が特別イベントをもって，前夜祭を盛り上げてくれることになりました。また全国大会の方も，実行委員会を中心に充実した内容を企画しています。

会員の皆様は，ぜひこの記念行事に参加して頂き，創立 20 周年を祝い，よろこびを共にして頂きたいと願っております。